

未来へ

 紀の川市議会だより
2021.11.1 発行 NO.59

紀の川市議会の第3回定例会と活動をわかりやすくお伝えします。



いざ、麻生津へ

●CONTENTS●

- (特集) 麻生津の将来を考える会・・・ P2
- 令和3年第3回定例会・・・ P4
- 一般質問・・・ P12
- 委員会活動報告・・・ P17
- 議会報告会・・・ P18
- 追跡 あの質問、どうなったの?・・・ P19

じわじわ、ぼちぼち 楽しみながら

お う づ
#麻生津の将来を考える会×広報委員会



子供の声にぎやかに

—— 会を立ち上げた経緯は。

麻生津地区の過疎化が進んでいるなか、きっかけは近所にあったコンビニがなくなったことです。「買い物難民になってもうたなあ」というところから、麻生津小学校の児童数も減ってきてるし、「あと20年経ったら、あの時動いとつたら良かったのになあ」ってなるかもしれないので、「なんかしましゅう」という事で2018年4月にスタートしました。

最終目標は、子供の声にぎやかに聞こえているような麻生津地域にしたいということです。

だんだんと過疎化してきたものを数年で元に戻すっていうのは不可能で、長いスパンで、頑張りすぎず、「じわじわ、ぼちぼち楽しみながらやっていこう」というのが当初の約束事なんです。

山崎製パン株式会社 から応援

—— 山崎製パンの「企業のふるさと」として調印したきっかけは。

会が発足してすぐのころ、過疎



絶景を見ると叫びたくなる

化になっている地域を「企業のふるさと」として盛り上げてもらえないかと、和歌山県が全国の企業さんに投げかけてくれて、手を挙げてくれたのが山崎製パンさんでした。

山崎製パンさんの社員さんに、年に1回やっている麻生津区民の大運動会の各地区対抗リレーに選手を出してもらったりしてきました。2回一緒に運動会をやったところで新型コロナウイルスが流行し、中止することになりました。

全国にも地元にも発信

——ユーチューブの動画では底抜けの明るさを感じたんですが。

撮り手としたら、昔から底抜けに明るい地元のおっちゃんを、距離感近く若いもんがいじる、そんな絵面がおもしろい。地元の名物的なおっちゃんを知ってもらって、将来、地元の活性化に向けて動き出した時に、イベントとかで「あつ、あのおっちゃんやあ」とかかっていうのができたら理想的なんかなあ。

——県の天然記念物の桂の木を探す動画もありましたが。

昔は小学校の登山で行ってたんですが、今は台風で林道の木が倒れて、行けない状態になってるところを、 구글マップや地図を持って探しました。場所を特定するのが大変でした。でも、思った以上に道がきれいだったんですよ。登山客の有志の方が、「桂の谷」ってお手製の看板を建ててくれたり、「倒木だけ取ったら全然歩けるやん」って。

地元の人からも、「見れてよかつ



街道入り口

たよ」「元気なうちに行きたいわ」という声も聴けて、外向けに作っていたつもりなんですけど、地元の人にも見せられて良かったです。

「麻生津ベース」を作りたい

——今後の取り組みは。

桂の木は、麻生津の観光資産でもあるんで、登山客も来てくれていいんです。麻生津は西高野街道の入り口、高野山の入り口になるところでもあり、トレイルランニングで竜門山から麻生津の方に

入ってこれるルートもあるし、まずは会として、ハイキングルートを、整備しすぎない程度に設置する。あんまりきれいにしすぎると、登山客からすると面白くない。飯盛城跡もあるし、そのあたりを周遊できるようなハイキングルートを整備できたらええなあっていうのが、今の目標です。

さらに「麻生津ベース」という拠点を作りたい。そこに麻生津の農産物を置いて販売したり、交流が生まれてくるようにしよう、というのが今、メンバーの中でまとまった話になっています。

例えば、大阪の方から、「ユー



ハイキングルート

チューブ見たんでええなあ、遊びに行くわ」「木の伐採とか、ハイキング道を作るのを手伝いに行くわ」って来てもらえるような「麻生津ベース」を作りたい。

空き家バンクへの登録を増やし、移住希望の方と「麻生津ベース」で交流することで移住を進めたい。移住してきてくれた時に、地域全体で「ようこそ麻生津へ」って言えるようにしていきたい。

(石井・榎本)

麻生津チャンネル

はこちら



「桂の谷」が校歌にも

● 第3回定例会 ●

こんなことが決まりました

定例会 会期 31日間 8月31日～9月30日
 ・ 一般質問 9名が登壇

定例会の議案は

市長提出議案

- ・ 人事案件 3件
- ・ 令和2年度決算の認定 21件
- ・ 令和3年度補正予算 19件
- ・ 条例の制定・改正 5件
- ・ その他 3件

請願 2件

委員会提出議案

- ・ 条例の改正 1件
- ・ 議員提出議案
- ・ 条例の制定 1件
- ・ 意見書 1件

3件に注目!

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載しておりますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。

(議案第68号) 紀の川市過疎地域持続的発展計画の策定について

1 過疎地域に支援

指定された地域(粉河・那賀・桃山の旧町エリア)は人口減少傾向が顕著で、少子高齢化などにより、住民の生活を支える様々なサービスに影響が生じる懸念があるためです。次の3つの基本方針により、過疎対策を実地します。

計画期間は、令和3年4月～令和8年3月までの5年間です。

- ・ 誰もが安心して暮らせる持続可能な生活環境を構築する。
- ・ 過疎地域の利便性を高める。
- ・ 地域の特性を生かし、多様な人材を活用する。

こんな質問が出ました

Q どのような支援策があるのですか。

A いろいろな事業で国の補助率がかさ上げされます。その他過疎対策事業債の発行、税制特例などです。



2

さらに地域振興券活用を

◎マイナンバーカード利用促進地域振興券事業

(1億3356万円)

マイナンバーカードを持っている方に1人1万円分の、市内で使える地域振興券を配ります。市民のカード保有率が60%にまで引き上げることが目指します。

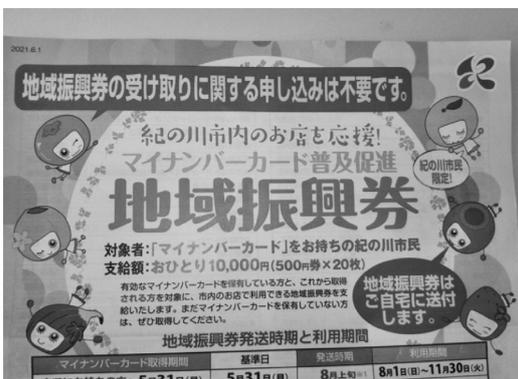
こんな質問が出ました

Q 地域振興券を利用できる店舗数は。また、この事業は12月24日までのカード取得者に対してですが、もっと続けては。

A 9月13日現在は301事業者です。事業の延長などは、決まっています。

Q マイナンバーカードの普及率が伸びている要因は。

A マイナンバーカードと地域振興券を合わせた形で実施し、出張申請会場も作ったことの影響効果です。また地域振興券をもらった市民の口コミでも広がっている状況です。



3

直売所オープンにむけて

◎青洲の里農産物直売所の指定管理者が決まりました。

指定管理者 紀の里農業協同組合
指定の期間 令和3年12月から令和8年3月31日まで

こんな質問が出ました

Q オープンはいつ頃を予定していますか。

A 12月中のオープンを目指していますが、新型コロナウイルスの影響で遅れることも考えられます。

Q 駐車場の管理は。

A 現在と同様に「道の駅青洲の里」が管理します。トラブルがないよう、状況を見ながら警備体制を考えていきます。



新築の直売所

新型コロナ対策で過去最高額

総務文教、厚生、産業建設常任委員会をそれぞれ分科会とし、所管する事項について詳しく審議を行いました。一般会計については、予算決算常任委員会で決算小委員会を設置し、3日間にわたり審査を行いました。

令和2年度決算

一般会計

予算現額	382億 237万3,000円
歳入決算額	376億1,350万1,540円 (収入率98.5%)
歳出決算額	364億9,545万5,348円 (執行率95.5%)
翌年度(3年度)繰越額	11億1,804万6,192円

特別会計(17会計)

歳入決算額	162億8,591万5,505円
歳出決算額	160億 611万8,856円



Q 令和2年度のコロナ禍の支援策を総括して、どう振り返りますか。

A 国の一律10万円給付に加え、1万円の給付、各世帯へのマスクの配布、影響を受けた事業者への10万円の給付、水道料金基本料の半年間免除、など適正に実施することができました。これからも必要な時期に必要な対策を実施できるように取り組みます。

こんな質問が出ました

Pick up 1

市民生活への支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止や経済対策のために補正予算(計11回)を組み、国からの特別定額給付金給付事業補助金61億3600万円と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金12億200万9千円を含み、総額約81億円を支出しました。

主な支援策

(千円)

特別定額給付金	6,160,643
紀の川市特別定額給付金	613,843
経営安定給付金	119,128
子育て世帯臨時特別給付金	70,800
ひとり親世帯臨時特別給付金	96,470
保育所感染予防	8,741
小中学校感染予防	22,453
マスク(各世帯)	78,321
水道基本料金	186,986

Pick up 2

基本料金 半年分無料

市民への支援策として水道基本料金を令和2年7月請求分から12月請求分まで半年間免除しました。

こんな質問が来ました

Q 新型コロナウイルス感染症対策補助金の内容は。

A 水道使用者約2万4180件の基本料金と、システム改修費を含めて1億8698万6100円になります。

Q 水道事業会計への影響は。

A 全額市の一般会計からの繰り入れで、水道事業独自の負担はありません。



Pick up 3

学校での発熱チェック

た。小中学校での感染症対策としてサーマルカメラを導入しました。

こんな質問が来ました

Q サーマルカメラによる発熱チェックで帰らなければならなかったような事例はあったのですか。

A 児童生徒、教職員は、自宅を出る時に検温してくることにしています。忘れた子供たちに対しての対策で、そういう事例はありません。

Q 1台52万5800円もするようなのが必要だったのですか。

A 導入までは非接触体温計で計測していましたが、サーマルカメラは最大10人まで測ることができ、授業参観や来客時にも活用でき、先生の作業時間の短縮などに繋がっています。



Pick up 4
人口増加への一歩

◎若者定住促進住宅取得奨励事業（4430万3千円）

市内で、住宅を取得する若年層を対象に奨励金を交付することで、若者の転入促進と転出抑制をはかり、市内定住を促しました。

- ・40歳未満の住宅取得者（新築・中古） 30万円交付
- ・転入者は10万円加算
- ・中学生以下の子供がいる場合は10万円加算

こんな質問が出ました

Q 108件の奨励金交付件数ですが、交付金額それぞれの世帯数はどうなっていますか。

A 基本額30万円を交付したのは14世帯、市外からの転入加算で40万円を交付したのは21世帯、中学生以下の子供加算で40万円を交付したのは49世帯、両方加算で50万円を交付したのは24世帯、合計108世帯でした。



Pick up 5
ICT化進む学校図書館

◎学校図書館教育推進事業（2127万円）

学校司書の配置が進み、15校のシステム導入と18校の蔵書整理が進んでいます。ICT化を進めることにより蔵書の情報を共有することができました。

こんな質問が出ました

Q 学校司書の配置が8名ですが、県内ではどのくらい進んでいるのですか。

A 県内でもトップクラスの司書の配置になっています。

Q タブレットを活用したオンラインでの貸し出しや、河北・河南図書館との連携は。

A 令和2年度はタブレットが配備されていないので、まだ実施されていません。タブレットは令和3年度から検討していきます。公立図書館との連携は、システムが整い次第、考えていきます。



小学校の学校図書館

Pick up 6

ふれあい収集の推進を

◎ごみ収集事業

一部ではごみ集積所の集約化が進められていますが、ごみ出し困窮家庭支援も求められており、環境省からはガイドラインが出されました。

こんな質問が出ました

Q ガイドラインの内容は。

A 高齢者のごみ出し支援制度には、直営による直接支援型、委託による直接支援型、コミュニティ支援型、福祉サービスの環境型の4つのタイプがあり、全国的には直営による直接支援型が多くなっています。

Q 進捗は。

A 直接支援型のテスト収集を実施しました。高齢化社会に対応する事業として、早期実現に向けて関係部署と協議を進めていきます。



Pick up 7

深刻な農作物の被害

◎有害鳥獣防止対策事業

野生鳥獣による農作物被害を防止するため、農地に設置する防護柵等の設置費用の一部を補助しています。

こんな質問が出ました

Q 被害の状況は。

A イノシシによる被害が一番大きいですが、生息数が大幅に減少したことで被害額は昨年度と比べて減少しています。イノシシに続いてヒヨドリ、アライグマ、カラスによる被害が大きいです。

Q 対策は。

A アライグマは捕獲檻の貸し出しで対応しています。鳥は、集団でいる場合は追い払いをします。場所によっては猟銃での駆除をしています。

令和2年度の被害状況

	被害額
1. イノシシ	1,645万円
2. ヒヨドリ	744万円
3. アライグマ	728万円
4. カラス	711万円

一般会計決算に対する 討 論



賛成の
主な理由

歳入では、滞納繰越分を含めた収納率が、前年度より上昇し、合併以来過去最高となった。
歳出では、新型コロナウイルス対策として様々な事業に取り組み必要な支援策を適宜実施した。
建設、福祉、農林商工の各部門においても、市民生活の安定と向上に必要な事業を着実に実施した。



反対の
主な理由

令和2年度で4億4000万円の基金を積み増したことで、財政計画の基金残高目標を上回る積み立てとなっている。
基金の積み増しではなく、市独自のPCR検査・抗原検査の実施やさらなる市民生活への支援策ができたのではないかと。

議案に対する議員の賛否一覧（賛否が分かれたものを掲載しています）

案 件 名	結果	門 眞 一 郎 (共)	上 野 宗 彦 (清)	仲 谷 妙 子 (刷)	船 木 孝 明 (わ)	太 田 加 寿 也 (わ)	榎 本 喜 之 重 (わ)	並 松 八 重 (公)	中 村 ま き (共)	大 谷 さ つ き (公)	阪 中 晃 (わ)	川 原 一 泰 (隆)	高 田 英 亮 (わ)	室 谷 伊 則 (公)	坂 本 康 隆 (わ)	堂 脇 光 弘 (刷)	竹 村 広 明 (清)	石 井 仁 (共)	杉 原 勲 (刷)	石 脇 順 治 (隆)	村 垣 正 造 (清)	
請願第1号 公立那賀病院の産科医師の確保を求める請願書	不採択	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	—
議員提出議案第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第46号 令和2年度紀の川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第49号 令和2年度紀の川市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第51号 令和2年度紀の川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第64号 令和2年度紀の川市水道事業会計における水道事業剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—

【○…賛成 ×…反対 —…議長 欠…欠席 退…退席】

※ 議長は採決に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」があります。
※ (わ)…わかばクラブ (清)…清流会 (公)…公明党 (刷)…刷新クラブ (共)…日本共産党 (隆)…隆盛クラブ

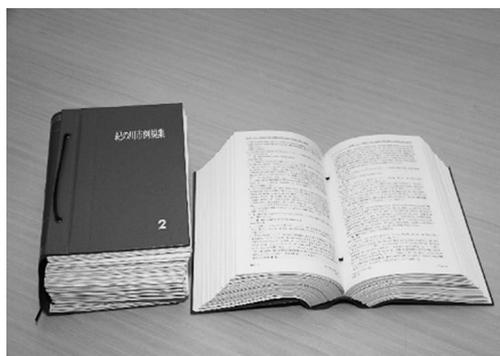
12月10日任期満了のため、12月定例会の日程は未定です。

紀の川市議会基本条例を制定しました

紀の川市議会では、市民の負託に応えるために「議会改革検討委員会」を全議員で構成し、議会改革を進めてきました。これまで、一般質問での一問一答方式の導入や議会報告会の実施、政治倫理条例の制定などに取り組んできています。

9月議会ではこれまでの議会改革の成果として「紀の川市議会基本条例」を全議員の賛成で制定しました。「憲法は、地方自治のあり方を定め、地方自治法によって地方公共団体の役割が定められている。地方自治は、地域の事を市民自らが考え、決定し、実行することにその精神がある。」との前文から始まり、全8章、24条にわたり、議会や議員の活動原則、市民と議会の関係、市長等と議会の関係、議会の機能強化など、議会の基本となる事項を定め、「議会の最も根幹となる支柱として」(前文)この条例を制定しました。

今後、議会基本条例の理念に沿って、議員活動、議会活動を進めることで、より良い議会を目指していきます。



意見書を

提出することになりました

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域経済にも大きな影響がおよび、地方財政は、引き続き財源不足が避けられない状況です。地方自治体においても様々な課題に対応する費用が必要で、その財源確保のために、地方税制の充実確保が強く望まれるなか、国に対して令和4年度地方税制改正に向け、令和4年度以降3年間の地方一般財源総額の十分な確保を求めることなどを要望するために提出します。

(提出先)

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
内閣官房長官 総務大臣 財務大臣
経済産業大臣 経済再生担当大臣

請願第1号

「公立那賀病院の産科医師の確保を求める請願書」

この請願は、令和3年第2回定例会で継続審査となっていたもので、委員会でも再度審査を行った結果、賛成少数により不採択となりました。

主な意見は、本市としてもすでに那賀病院に要望しており、県も産婦人科医師の確保に取り組んでいる、などです。

請願第2号

「良好な住環境を確保するための条例を制定することについて」

この請願は、令和3年第2回定例会で継続審査となっていたもので、委員会でも再度審査を行った結果、全会一致により不採択となりました。

主な意見は、40デシベルを基準とするのは設定が低すぎ、日常生活でも起こり得る音であり、規制することで日常生活に支障が起る、などです。



いっぱん質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、事業の執行状況や政策方針などについて質問することで、政策の見直しや提言なども行います。

中村 まき (13 ページ)

- ◎コロナ禍における市長のあり方
- ・コロナ禍での公共施設の活用を

石井 仁 (13 ページ)

- ◎市民に向けた積極的な情報公開を

大谷 さつき (14 ページ)

- ◎シェアサイクルで観光・地域を活性し、さらなる魅力発信へ
- ・「生理の貧困」に対する理解と支援を

並松 八重 (14 ページ)

- ・地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備
- ◎本市におけるヤングケアラーの認識と適切な支援体制を

榎本 喜之 (15 ページ)

- ◎一般ごみ収集業務の将来

船木 孝明 (15 ページ)

- ◎本市のふるさと納税の取り組みは

太田 加寿也 (16 ページ)

- ◎通学路の安全対策をもっと積極的に、ていねいに進めてはどうか
- ・GIGA スクール構想により導入された機器の活用状況は

門 眞一郎 (16 ページ)

- ◎土砂災害を防ぐために

堂脇 光弘 (17 ページ)

- ◎これからの紀の川市づくり

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-0860)

市長の職責とは・・・

Q コロナの影響を受け、暮らしに大きな影響を与えている。市としてさまざまな施策を行うために、市長のあり方を問う。

A 秘書課で市長のスケジュールを聞くと、「記録していない」ということだった。公室長は市長のスケジュール管理ができていないのか。公文書として管理していないので答えられない。

Q 岩出保健所管内での感染者数が増えてくることによって、市長の登庁日が減っている期間もあるが、どうしていたのか。

A 市長の感染リスクを軽減するため自宅待機していた。

Q 市長が不在の時、判断が求められる時はどのように対応したのか。

A 不在時の緊急な判断や指示については電話で確認をし、指示を受けたり、判断していただいたり、事務執行遅滞のないように進めていた。



中村 まき

Q 特別定額給付金の支給は市長の判断でもっと早くできたのでは。

A 全国からみても決して遅いとは思っていない。

Q ワクチン接種の予約では電話が殺到したこと、令和2年度の自殺者数が増えていることなどは、市民が不安や困難を抱えてきた表れではないか。市長の判断で、市民の不安軽減の迅速な対応ができたのでは。

A 今まで事業において、停滞させ迷惑をかけていることはない。



市長の公用車

情報公開を進めるために「公文書管理条例」の制定を

Q 行政の持つ公文書をはじめとする情報は、広く市民のものであると考えるが。

A 行政の財産であると同時に、「市民の財産」でもあると認識している。

Q 行政情報は「市民の財産」という認識が、市役所全体に不足しているのではないか。

A これまで事務を行ううえで、文書等は公開していくものという職員の認識がやや不足していたため、「市民への公表はどうか」となる点、十分とは言えない状況だと認識している。

Q 長期総合計画で「情報公開を総合的に推進します」という方針を持っているが、公文書がきちんと管理されていないと情報公開の推進はままならない。情報公開と対をなす公文書の管理を進めていく必要がある。

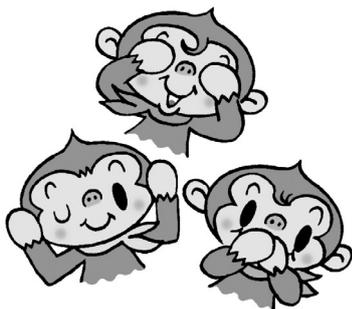
公文書管理条例を制定し、現在および将来の住民が利用できるも

のとして公文書を管理すべきでは。管理の実態なくして条例の存在はない。市の現状では拙速な条例化は避けるべきだと思う。

A まず、現状の文書管理について検証・分析を行い、手直しが必要な部分から作業を行ったうえで、条例化に向けた検討を行っていきたい。



石井 仁



ないものねだりではなく、あるもの探して地域活性化を



大谷 さつき

Q 新型コロナウイルス感染症により、様々な業種が大きな打撃を受けている。アフターコロナ対策として新しい観光施策の推進が有効である。本市は観光庁のシェアサイクルの事業を活用しているが、実証実験の結果は。

A 電動シェアサイクルの実証事業は、キャッシュレスにより各自で借りて返却できるシステムである。打田駅・粉河駅・名手駅・貴志駅駐輪場と観光交流拠点「紀楽里」の5ヶ所に、各5台電動アシスト自転車をサイクルステーションとして設置している。昨年12月から今年の7月末までの利用回数は197回で、約2割が貸出場所とは異なるサイクルステーションへ返却されている。

Q インバウンドよりも日本人国内宿泊旅行者の活動が地域経済の活性化に大きく寄与している。本格的なサイクリストだけでなく、幅広い観光客を呼び込み、本市の素晴らしさを魅力発信し、独自の

Q シェアサイクル事業を立ち上げては、アフターコロナを見据えた時、開放的なサイクリングは、広域的な誘客も期待できる。電動シェアサイクリングは、本市を訪れる観光客の周遊化を進め、地域活性化に向けて効果的な取り組みと考える。

A 本市におけるシェアサイクルの単独整備については、今回の実証事業の検証結果や利用者の声、また事業の効率性なども踏まえ、検討していく。

Q シェアサイクルで市内めぐり



シェアサイクルで市内めぐり

子供たちの健全な育成を支える支援体制を



並松 八重

Q ヤングケアラーは本人や家族に自覚がなかったり、表面化しにくい構造となっている。初めて国は、昨年12月から本年1月にかけて全国の中学生・高校生に実態調査をした結果、1万3千人から回答があり、「世話をしている家族がいる」という割合は中学生で17人に1人、高校生が24人に1人であった。本市が把握しているヤングケアラーの実態は。

A ヤングケアラーと思われる児童生徒の調査は本年度からとなり、現状把握に努めている。ヤングケアラーに該当するかどうか不明瞭な児童生徒については、問題意識を持ち、対応し見守っていく。

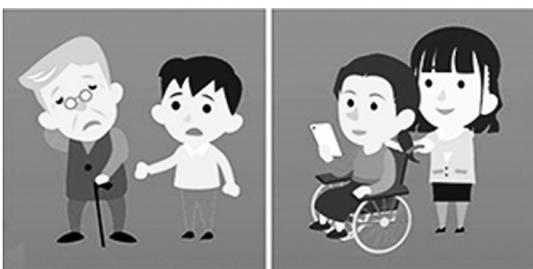
Q 6割以上のヤングケアラーは誰にも相談した経験がないと答えている。課題を抱える児童生徒が、相談できる環境づくりはできているのか。

A 学校に専門的な職員を配置し、子供が相談できる窓口を数多く設けるようにしている。子供の状況

把握に努めるとともに、関係機関と対応を協議できる体制を構築している。

Q 市としては、どのような相談体制と支援を提供できるのか。

A 0〜18歳までの子供とその保護者、妊産婦の相談の受付や支援を行う「子ども家庭総合支援拠点」を本年10月から運用を開始し、ヤングケアラーの相談窓口として早期発見・支援につなげる体制構築に取り組んでいく。



安定的なごみ収集には直営体制の維持を

Q 一般廃棄物の収集業務は、その一部を民間に委託しているが、ほとんどを直営で行っている。直営体制は今後も維持していけるのか。

収集業務の効率化がこれまでも行われてきたが、どのようなものがあるのか。

A 循環型社会形成推進法が制定され、リサイクル法が施行されたことなどにより収集が複雑化し、回数が増加してきているが、旧町からの4ヶ所の焼却施設の廃止、車両カメラを活用することにより、3人から2人乗車体制にしたこと、ステーション方式による集積箇所集約化などに取り組んできた。

Q 民間委託のメリットをどう考えるか。

A コスト削減がメリットであるが、突発的な作業が発生したとき、迅速な対応が困難な場合や、別途費用を要することがあるなどのデメリットも考えられる。

Q 一定程度の直営体制の維持が必要

をどう考えるか。

A ごみ収集職員をはじめとする技能労務職員と民間事業者の給与格差が大きいことから、退職者不補充を原則に正職員を補充採用せず、民間にできることは民間に委託し、また会計年度任用職員の任用等により業務の効率化をはかってきた。ごみ収集体制の確立は給与格差の問題等もあるが、市民ニーズや社会情勢を検証しながら本市に合った最適なごみ収集体制の構築に向け、現場の声も聴きながら担当課と協議を重ねていく。



榎本 喜之



最新のパッカー車

返礼品で人気の桃を確保するために

Q 平成20年度の寄附金額は10万円であった。令和2年度は約5億5千万円の寄附金が集まっているが、その要因と今後の取り組みは。

A 令和元年6月に地方税法が改正され、「あらかわの桃」が本市のみでの取り扱いとなったことで増加したことがあげられる。今後、生産者・事業者の支援に、積極的に取り組んでいく。

Q ふるさと納税の納税者は寄附金の使い道を選択できる。指定しない人の寄附金は。

A 寄附金の使い道は、本市の長期総合計画に掲げられた5つのまちづくりの目標をもとに選択していただいている。令和2年度では指定しない寄附金は学校給食、若者の定住促進などに使っている。

Q 返礼品の7〜8割が桃と聞いている。どのくらいの金額か。

A ふるさと納税の桃の返礼品は、令和2年度で約70%、桃

を希望された方の寄附金額は約3億8千3百万円になる。

Q 桃を確保するため、クビアカツヤカミキリ虫の現状と対策は。

A 本市のクビアカツヤカミキリ虫は令和2年6月に粉河の果樹の3園地で発見され、県と市の補助金で被害樹7本の伐採抜根を行った。今後被害が増加しない対策を講じる。



船木 孝明



あらかわの桃 (イメージ)

通学路の安全対策をもっと積極的に 丁寧に進めては



太田 加寿也

危険な盛土はないか？



門 眞一郎

Q グリーンベルトの設置が学校周

辺で進んでいるが、あまり効果が見られない場所や逆に危険になったと思われる場所がある。例えば、深い水路に沿って引かれている、塀に接して歩いて歩く幅がない、カーブしているため車が通ると接触しやすなど。

A 通学時の危険場所については、

各小中学校で学校運営協議会や保護者の意見を考慮したうえで、学校からの要望として紀の川市通学路安全推進会議で現場確認をし、改善策の一つとしてグリーンベルトを設置している。設置後の点検・検証はまだしていない。

Q グリーンベルトは、学校からどの

くらいの距離まで設置可能か。また、今後の整備の予定は。

A 学校からの距離は、基本300



グリーンベルト

mとなっているが、現状に合った

対応をしている。今後の整備の予定は、以前から要望のあった箇所について、令和2年度から5ヶ年計画で市内14小中学校周辺市道の塗装を計画実施している。

Q すでに設置されたグリーンベ

ルトの現状を十分に点検・検証をしたうえで、5ヶ年計画を丁寧に進めては。

A 学校からの要望に基づいてしっ

Q 7月3日、熱海で発生した土石

流による災害は、背後の山地の盛土の崩壊が発端になっていた。本市にはこのような危険な盛り土が放置されていないか。市のホームページには「大規模盛土造成地マップ」が公開されている。該当造成地の第2次調査は済んでいるのか。

A 現時点では第2次調査の実施予

定はない。理由は土地所有者の理解を得ることが困難。県内市町村の動向を見ながら検討する。

Q 今後、調査をした結果、大地震

の時に変動する恐れのある箇所が出た場合、どう対応するのか。

A 造成宅地防災区域の指定または

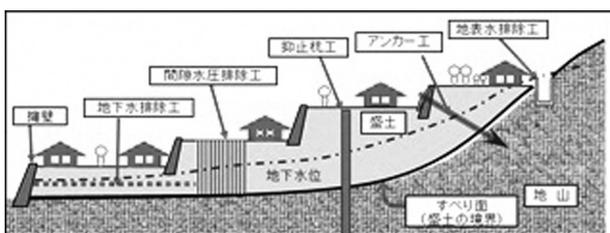
宅地造成工事規制区域内の勧告を受けて、対策工事の実施となる。

Q 規模は小さくても豪雨や大地震

の際に崩落する恐れのある盛土造成地はないのか。

A 小規模盛土については、現時点

において危険なまま放置された箇所はない。



滑動崩落防止事業 対策工事イメージ

決意も新たに出馬に意欲

Q 5町合併からはや16年が経とう

としているが、合併当初から初代紀の川市長として安全安心をモットーに様々な課題・難題に取り組んでこられた。市内小中学校の普通教室へのエアコンの導入や学童保育施設の整備、ほ場整備事業の実施、さらには市民生活に直結する治水対策として取り組んできた岩出狹窄部対策事業が完成し、浸水被害の軽減が期待される。

しかし、人口減少対策や交通網整備等の課題が山積している。その中で、京奈和関空連絡道路の早期実現が好影響をもたらし、本市が発展することに大きな期待をしている。

様々な課題や京奈和関空連絡道路の早期実現に即座に対応できるのは中村市長しかないと思うが、次期市長選に出馬し、5期目も市政を担っていただけるのか、市長の決意は。

A 合併後16年、公平で安全安心な紀の川市を作るため市政を運営してきた。しかし、住んで良かった



決意を語る中村市長

と思ってもらえるには、課題を100%解決していないと考えている。中でも京奈和関空連絡道路の早期実現こそが企業誘致、農業支援、住環境の充実につながると考えている。

これからは、誰もが元気で働ける紀の川市、市民がお金を稼げるまちにするため、また、京奈和関空連絡道路の実現に向け、議会や市民の協力のもと、命がけで取り組んでいく。



堂脇 光弘

委員会活動報告

各委員会では、議案の審査だけでなく、委員会に付託された市民生活に深く関わるることについて議会の閉会中も調査研究を行っています。最近の活動状況についてお知らせします。

総務文教常任委員会 ●8月2日

- ・土地開発公社から移管された土地の状況について

調査項目について説明を受け、現地調査を行いました。



厚生常任委員会 ●8月16日

- ・「紀の川市環境基本計画」について
- ①紀の川市環境基本計画の進捗状況について
- ②紀の川市環境基本計画の住環境に係る重点項目について
- ③住環境における条例等整備について

6月議会で提案された請願を継続審査としたことも踏まえ、本市の環境基本計画に基づき、各調査項目について調査研究を行いました。

議会報告会を開催しました！

【日 時】令和3年7月26日 午後7時より

【場 所】北涌集会所

【参加者】麻生津の将来を考える会10名、
議員7名

本来であれば、地域ごとに日程を設定して参加をお願いしていましたが、コロナ禍の状況で開催は難しく、今回も前回と同様に議会広報特別委員会の取材と合同で実施させていただきました。

当日意見交換をさせていただいた内容について一部紹介させていただきます。議会の概要や定例会の内容、議員の活動については、資料を配布しました。

こんな意見が出ました



麻生津地区の桂の谷に県の指定天然記念物で、雌桂と雄桂の2本の桂の木がある。登山道には倒木が多いので、桂の谷まで整備をしてほしい。

議員 登山道までの倒木の処理を見積もりし、安心して登山できるよう整備を議会からも進めていきたいと思えます。



高野山に登る街道のひとつに、西国街道（麻生津道）がある。西国街道は歴史の道100選に追加選定されたが、あまり知られていないのでもっとPRしてほしい。

議員 地元を盛り上げようとYouTubeで発信されているので、この活動を継続してもらえるように今後も応援していきます。



麻生津の昔の旧街道の町並みを歩いていただき、ハイキング登山コースというのを考えており、麻生津ベースという自分たちの拠点、交流の拠点、例えば農産物などを置いて販売できるような拠点を作りたい。

議員 素晴らしい活動を進めているので、長期にわたって続くよう期待します。



空き家バンクに麻生津地区は誰も登録されていない。過疎化が長年にわたって進み、数年で元に戻すことは不可能だが、長いスパンとなるが地域活性化のために移住者が増えてほしい。

議員 市でも空き家バンクを創設したところです。空き家がある程度ピックアップはしており、交渉している段階ということです。



議会報告会を終えて

今年報告会に参加していただいた皆様からは、様々な意見をうかがうことができ、改めて市民の皆様の貴重な意見を聞く機会の大切さを痛感いたしました。

今後は、市民参加と協働のもと、市民に開かれた議会の実現のため、多様な情報発信手段を用いて積極的な広報広聴活動に努めてまいります。

議長 村垣 正造

追跡

ちょっとおしえて!

あの質問、どうなったの?

目指せ！道の駅の集客

「青洲の里」へのアクセス道路である県道粉河那賀線の西野山交差点付近の改良を推進すべきでは。

答 弁

県からは、地元同意が得られるならば、前向きに検討していくと答えていただいている。

その後

もうすぐ広い交差点に

県道粉河那賀線の馬宿地区から西野山交差点までの改良・拡幅については、平成28年度から事業着手している。西野山交差点については、令和3年度中に完成予定である。



馬宿方面から見た工事現場

デジタルに強い紀の市

老いも若きも市民が簡単にインターネットを使いこなせるように、企業とタイアップしてデジタルに弱い人のために講習会を企画しては。

答 弁

デジタルの活用について学ぶ機会を作るため、企業や民間のノウハウの活用などについて調査・研究をしたい。

その後

高齢者向けに スマホ教室開催へ

市民の利便性向上につながるデジタル化を推進するため、高齢者を対象としたスマートフォンの操作方法など教室開催にかかる経費が予算措置されました。





編集後記

令和2年2月発行「未来へ」から議会広報特別委員会のメンバーとなり、この間8回の議会だよりの発行に携わってきました。

議会だよりも44号までは「こんにちはは議会です」、45号からは「未来へ」と誌名が変わり、より読みやすいようにと、字体や紙面構成を変えてきました。編集後記も以前は筆者名がインシヤルだったのが、44号からはフルネームに変わっています。

毎回の議会の様子をわかりやすく伝えることが使命の議会だよりですが、振り返ってみると進化の足跡が感じられます。

2年間でしたが、編集委員の1人として委員会の「真剣さ」を学ばせてもらいました。

紀の川市議会も間もなく任期満了となるため、現メンバーによる「未来へ」の編集は最後となります。改選後の新メンバーに進化のバトンを託します。

(門 眞一郎)

